

「淀川舟運フェスティバル」の開催について（案）

令和7年3月

京都府観光室

1 目的

大阪・関西万博フラッグシップ・アクション「京都の川巡り」については、淀川大堰閘門の改修、伏見船着場の新設（R7.3月完成予定）により、大阪湾から伏見までの舟運が可能になることから、淀川を活用した観光船の運航やイベントの開催により舟運利用の機運醸成を促進し、河川を活用した観光コンテンツの造成を図る。

2 主催

京都府、京阪ホールディングス（株）、京都ふしみ五四市協議会、（同）伏水酒蔵小路（特別協力：伏見港スポーツパークパートナーズ、淀川舟運活性化協議会、伏見酒造組合）

3 日程

令和7年5月10日（土）、11日（日） 10時～16時

4 場所

京都府主催分：伏見～大阪間の観光船運航、府立伏見港公園・京阪中書島駅
沿川市町等開催分：お茶と宇治のまち歴史公園茶づな広場（宇治市）、背割堤船着場（八幡市）、枚方市船着場等

5 内容

（1）観光船の運航

イベントに合わせて観光船を伏見～八幡を中心に運航。

（2）淀川舟運フェスティバルの開催

①府立伏見港公園

公園内にステージを設営し、吹奏楽の演奏などを行うとともに、テントブースでは子ども向けのワークショップや展示・体験などを提供。

また、キッチンカーによる飲食の提供や地元団体によるマルシェも開催予定。

②京阪中書島駅

京阪宇治線を走行する列車（4両編成）を貸し切り、4番線ホームにおいてトレインマーケットを開催。列車内では沿川市町の商品や鉄道グッズの展示、大阪・関西万博のPRなどを実施予定。

（3）沿川市町のイベント

京都府と連携して、沿川市町である宇治市（お茶と宇治のまち歴史公園茶づな広場）や八幡市（背割堤船着場）、枚方市船着場でも賑わい創出イベントを開催予定。